

自分の仕事や行動に 誇りを持って取り組む

大川商工会議所青年部 第35代会長

有限会社 大坪研磨商会

専務取締役 大坪聖臣 さん

住 所…大川市大字大橋12111
TEL…094418710573
FAX…09441891159
URL : <http://ootsubo-kenma.com>

今年創立35周年を迎えた大川商工会議所青年部。今回の夢追い人は、節目を迎えた青年部の第35代会長である大坪さんにお話を伺いました。

大坪さんが会長を務められている令和3年度のスローガンは「Hungry Pride ※YEG」。このスローガンに込められた想いとはどんなものでしょうか。

「令和2年が始まった頃から、新型コロナウイルス感染症の関係で青年部活動が思うようにできなくなりました。どうすれば活動ができるのかと考えた時に、形・行動に移すというハングリー精神と、できることをメンバー内で考え、行動すると決めたことに対しては誇りを持ち、堂々と胸を張って行動しよう！という想いをスローガンに込めました。商工会議所青年部という異業種の集まりだからこそ、メンバーそれ

ぞれ、いろんな方向から意見や知恵を出してくれるので、新しい発見に繋がります。それをまた自分の会社を持ち帰れば、本業の何かしらのヒントになる可能性も十分ありますからね。青年部活動を通して、自分の仕事にも誇りを持つとう！という想いもあります」

会長として約半年が経過された大坪さん。今年度も新型コロナウイルス感染症によって、活動が制限されることもあったそうです。

「制限されるなかでもオンラインをフル活用して例会を行うことができました。これまではオンラインを活用して会議を行ったり、事業を展開したりなどはほとんどありませんでしたが、今回は積極的に取り入れていったことで、オンラインでこんなことまでできるんだ！という経験もできた

かなと思います。ただこの半年、オンラインでの会議や事業がほとんどのなかで、実際に会って話すことの大切さにも気づきましたね。メンバーとのコミュニケーションやお互いのモチベーションアップに繋がるには、やっぱり対面してこそだなと感じています」

これまでとは違いオンラインのためか、モチベーションが下がっているなど感じることも会長職だからこそ目に見えてわかったとお話されました。

「参加者の数など、数字として見えてくる部分もそうです。会長としてはやっぱり、自分がどうこうよりもメンバーがやりたいことをどうにか形にしていってあげたいという気持ちが強くなりました。実は青年部の年間の活動を通じて、私が発信していくのは最初のス





青年部集合写真

ローガンと活動方針だけなんです。会長としての年度が始まるまでに執行部で活動しやすいような環境づくりを入念に行いました。実際に動き出せばメンバー各々の役割を形にしていってくれるんです。だからこそ制限されている状況でも、メンバーのモチベーションがあがるように、そしてより良い事業が展開できるように会長として尽力しています。また大川商工会議所青年部という団体組織、綱領、指針を作り活動し、土台作りをしてこられた先輩方がいるということは、ずっと忘れて

はいけないと思っています。そんな土台のなかで踏み外さないような色々と模索しながら、今の時代に合った新たな活動が続けて行かなければならないなど。青年部会員の減少などもそうですが、時代の変化に合わせてマイナーチェンジをしていく部分と根底の絶対に変えてはいけない部分を会長として次世代に残していきたいですね」

今年35周年を迎えた青年部。12月18日には記念式典も行われます。

「今は式典を成功させるべく準備をしています。今回の式典のテーマは『感謝』。次代へバトンを』に実行委員会が決定しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら大人数での懇親会は中止という決断をいたしました。ですが、この節目まで活動を続けてこられた感謝の気持ちを形にできるよう一丸となって準備に励んでいます」

今年も残念ながら延期となった大川木工まつりですが、そこでも大きな役割を担われている青年部。

「毎年木工まつりの目玉イベントでもあるパレードは、青年部が主管させてもらっています。昨年、そして今年と延期になってしまいました。このパレードでは多くのお客様に参加、そして観に来てくださいたいという自負もあつたります。大川市の事業にも積極的に参加して、メンバー各々の成長、それから自社の

成長、ひいては大川市の成長に貢献できれば一番良いことではないかなと思っています。今年度は大川市男女共同参画事業も担当しており、講演会を開催させていただき、男女の隔たりのない経済的、政治的、社会的、文化的な活動を一人でも多くの方に理解していただけるような、より良い機会にしたいと思っています」

また青年部活動だけではなく、家業である(有)大坪研磨商会についても伺いました。大坪研磨商会は創業して今年で45年。大坪さんが家業に入られてからは、20年とのことです。

「高校卒業して、5年ほどは別の企業に勤めていました。それから23歳のころに戻ってきて、今は家業に携わっています」

では大坪研磨商会では、主にどのような事業を行っているのでしょうか。

「メインは木工機械用の刃物の研磨ですね。もちろん木工用だけではなく、鉄工用や樹脂用の刃物の研磨なども行っています。それから大手メーカーの刃物の製造であつたり、そのメーカーの刃物の再研磨なども請け負ったりしています。材料を仕入れて一から作ることもあれば、既存の部品などを組み合わせて刃物にすることもありますね」

取引先が求めるモノを製造されている大坪研磨商会。製



製造している刃物

造だけではなく定期的なメンテナンスを請け負うこともあるとのこと。

「物や機械にもよりますが、機械に無理させながら切れないう刃物でどうにか切ろうとして、材料が跳ね返って人に当たるとなると事故もあつたと聞いています。それからどうしてても無理に力をかけてしまつて手を切つたという話も聞きますね。そういった事故や怪我を防ぐためにも定期的なメンテナンスを心がけてもらえたら嬉しいですね」

大川市内だけではなく、市外、そして県外の企業とも取引されているとのこと。どういった経緯で取引繋がったのでしょうか。

「加入している青年部での繋がりがありませんが、ホームページの問い合わせから取引に繋がったことも多々あります。例えばバイオリンを作るための小さな刃物とか、今まで製造したことのないような刃物を製造したり、携わつたことのない業種の刃物を研磨させてもらつたりなど、良い機会に繋がりました。またそ

れによって自分自身の技術や知識向上にも繋がりました。大川は木工の街として全国的に認知されていますが、家具製造などの木工業に付随する業種も大川にはたくさん集まっています。そのなかの一つが研磨だと思っています。表にはなかなか出てこない業種ではありますが、大川の研磨屋は工業用刃物に対する技術力や知識がすごいんですよ！ということをおアピールしていきたいと思、自社ホームページを作成したことで、とても良い結果を生み出してきているなと思います」

青年部活動、そして本業である大坪研磨商会。どちらとも精力的に活動されている大坪さん。そんな大坪さんの夢とはなんでしょうか。

「平成24年のことですが、商工会議所青年部として鳥人間コンテストに参加させてもらった際に、パイロットをさせてもらったことがとても印象に残っています。ちょうど私が34歳になる年でした。参加したこともそうですが、それまでの準備なども含めて、たくさんの方の経験をさせてもらった年だつたと思います。そして、その経験が今の私にも大いに活かされています。こういった経験を若い世代にも多く経験してほしいと思っています。それから青年部ももっと新しい会員を増やして、これまで以上に色々な経験を、自分の成長、そして自社の成長に繋げて発展していくてくれたら嬉しいです」

※YEG…「YEG」とは商工会議所青年部の英語名 (YOUNG ENTREPRENEURS GROUP) の頭文字をとったものであり、同時にそのコンセプトである若さ (YOUTH)、情熱 (ENERGY)、広い視野 (GENERALIST) を持った経営者を意味し、その活動の発展が目的。